

写真 1. 後方に見ゆるは舊橋（別途工事にて撤去）。

東京府多摩川橋

東京府土木部橋梁課
道路技師 南 保 賀

本橋は東京府西多摩郡西多摩村字小作、調布村字友田入會多摩川に架すものにして、府縣道第 188 號八王子飯能線に該當す。舊橋は吊橋にして本路線が町村道たりし時代に架設せるもの、經年の結果床板、吊鋼索共に腐朽したると、設計荷重は三等荷重未滿と覺しく各部材寸法小にして危險なるを以て、架換を行ふことゝなれり。地形の關係上當初は上路鋼拱の計畫であつたが、今次支那事變直前の鋼材の著しき暴騰のため、(僅々 6 ヶ月間に鹿當り 90 圓より 300 圓以上に騰る) 到底予算内にて起工困難なるを認め、ラーメン式鐵筋コンクリートゲルバー桁に著目し、設計を進めた

るところ、鋼材の減少により、追加予算をとることなく起工の實現を見た。

昭和 13 年 6 月着工、本年 3 月工事の竣功を見たのであるが、鋼材の手當は統制前にして置いたものゝ、引渡が遅れたため、割當制の制約を受け、僅少な本府配當量より之を分割するの必要を生じ、又鑄鐵製點燈柱、同雨水榊、青銅製橋名板、伸縮目地用銅板、點燈用地下電纜は製造禁止又は購入困難となれるための設計變更を始め、漸く下部工事を了つた頃よりのセメント饑饉よりの壓迫等幾多の困難にも堪え、當初計畫たる 14 年 6 月の工期よりすれば約 9 ヶ月の工期延長を見たるも去る

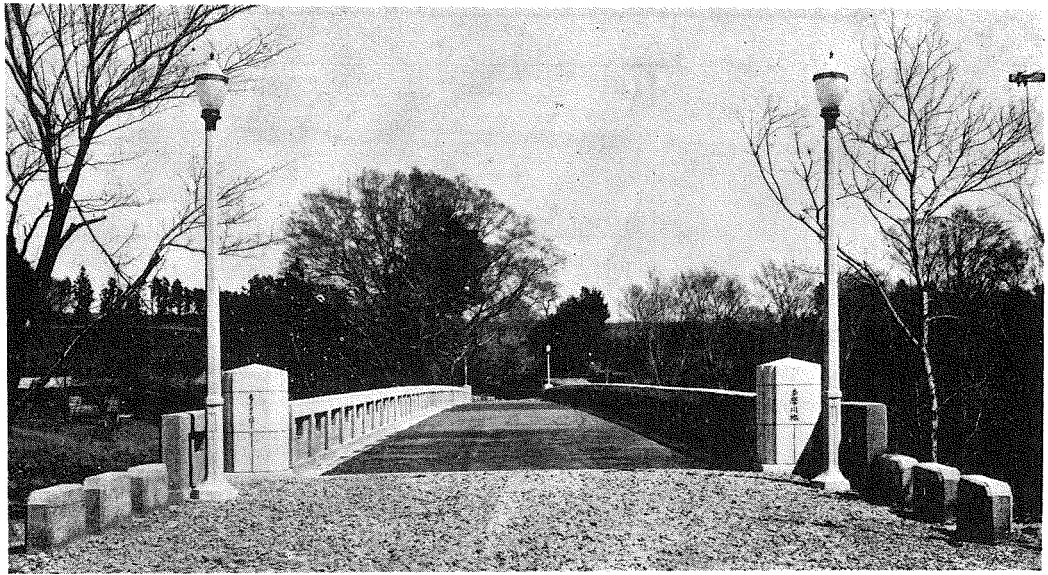


写真 2. 右岸正面より左岸を望む。

本年 3 月竣功を見たるは当事者の一人として
慶びに堪えぬ。

今本橋計畫の概要を示せば次の通りであ
る。

橋 種 ゲルバー式鉄筋コンクリート框
構橋。

設計荷重 3 等荷重

橋 長 103.80m

有効幅員 6.00m

所要鋼材 103.1ton (橋面 1 平米當り 0.16
5ton)

工 費 93,510.00圓(橋面 1 平米當り 14
8圓)

工事内譯

(1)橋臺工(2基)	6,397.187圓
(2)橋脚工(4基)	38,017.390〃
(3)橋臺根固工	468.940〃
(1)框構主體工	38,197.125〃
(2)鋪裝工	1,342.640〃
(3)親柱及高欄工	3,585.117〃
其他工事袖高欄工	72.082〃
取付道路工事	5,429.519〃
合 計	93,510.000〃

他に

其外監督費及諸雜費 3,344.000〃

地質調査費 719.200〃

但し監督員費及諸雜費中には府職員給を含
まず。次に設計の内容につきその概要を掲出
することとする。

下部構造

橋臺 半重力式コンクリート橋臺 2 基

橋脚 楕圓形コンクリート井筒基礎 4 基

上部構造

徑間割 5 徑間 中央徑間 3 @22.4m

側徑間 2 @17.95m

主 桁 2 本

桁間隔 3.7m

桁 高 1.4m

桁 幅 0.6m

柱 高 10.38m

断面天端にて 1.5m×1.8m,

下端にて 1.5m×1.4m

床 版 厚 0.23m

鋪 裝 厚 0.05m 碎石コンクリート

高 欄 高 1.00m 鐵筋コンクリート

取付道路工 延長67.82m, 有効幅員7.5m